

# 2020年3月期 第3四半期累計期間 決算説明資料

## 1 連結業績の概要

- 1) 連結業績概要 … P.2
- 2) 営業利益の増減要因 … P.3
- 3) セグメント別売上高・営業利益 … P.4

## 2 連結業績の詳細

- 1) セグメント別売上高・営業利益 … P.5

## 3 2020年3月期 業績予想

- 1) 2020年3月期 業績予想 … P.10
- 2) セグメント別売上高・営業利益 … P.11

## 参考資料

- ・2020年3月期 第3四半期累計期間 … P.13  
損益計算書・包括利益計算書  
貸借対照表  
設備投資他
- ・2020年3月期 業績予想 … P.16  
セグメント別売上高・営業利益 (第4四半期)  
海外地域別売上高  
設備投資他
- ・トピックス … P.19  
Acrelec Group S.A.S.の株式取得  
(子会社化)について



## 売上高

金融市場の大口需要の反動により、前年同期に比べ減収。

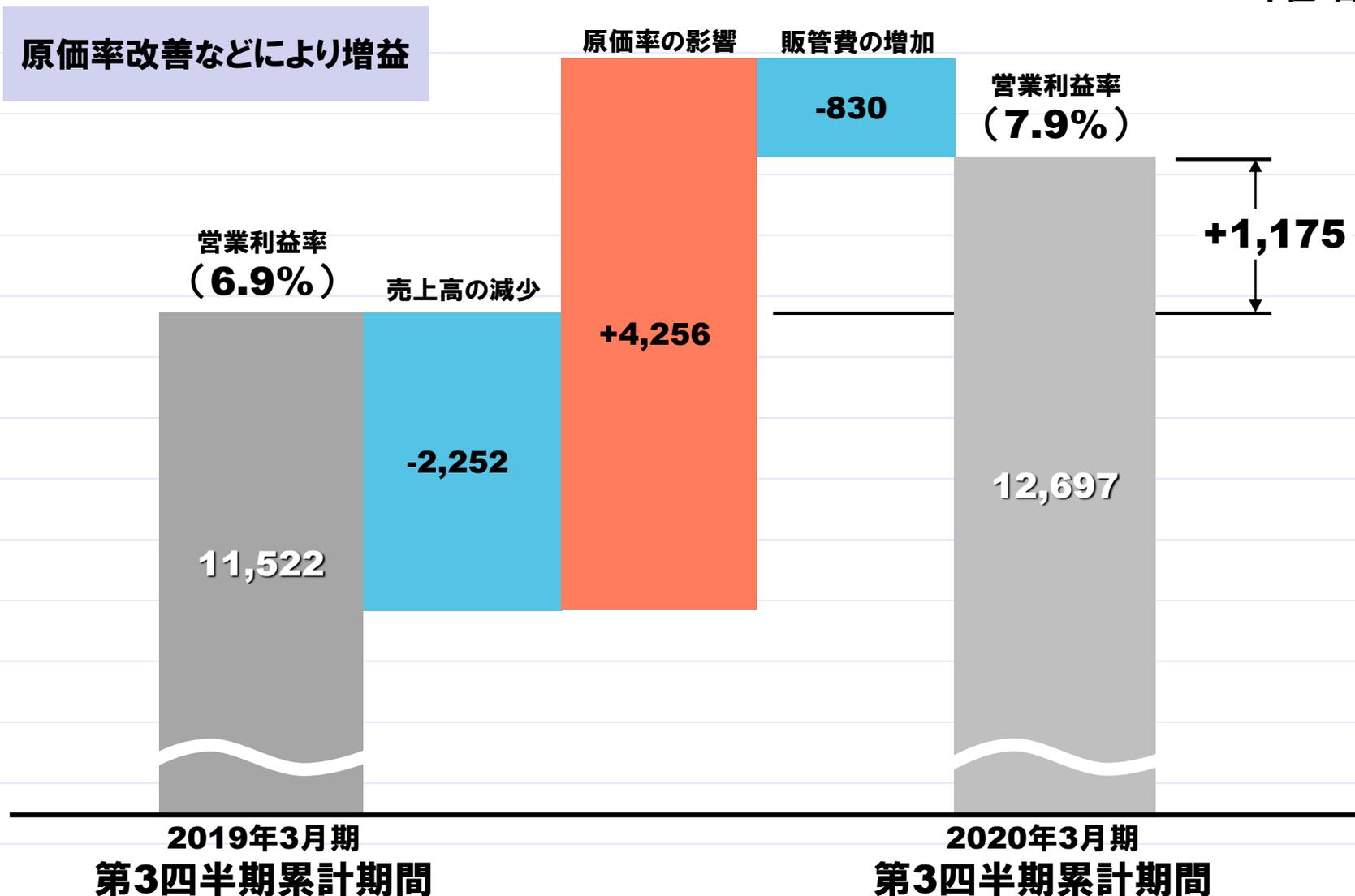
## 営業利益

保守売上高の増加およびプロダクトミックスの改善等により、前年同期に比べ増益。

(百万円)	2019年3月期		2020年3月期		前年同期比
	第3四半期累計期間	売上高比率	第3四半期累計期間	売上高比率	
売上高	166,804	100.0%	160,785	100.0%	-3.6%
保守売上高	50,566	30.3%	53,302	33.2%	+5.4%
営業利益	11,522	6.9%	12,697	7.9%	+10.2%
経常利益	11,294	6.8%	11,950	7.4%	+5.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,489	3.9%	7,237	4.5%	+11.5%
※ EBITDA	20,947	12.6%	23,011	14.3%	+9.9%
為替 レート	ドル	111 円	109 円		
	ユーロ	130 円	121 円		

※EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費

単位:百万円



(百万円)	売上高			営業利益		
	2019年3月期	2020年3月期	前年同期比	2019年3月期	2020年3月期	前年同期比
	第3四半期累計期間			第3四半期累計期間		
海外市場	70,460	73,343	+2,883 +4.1 %	2,835	6,284	+3,449 +121.7 %
金融市場	40,749	30,654	-10,095 -24.8 %	4,843	2,519	-2,324 -48.0 %
流通・交通 市場	37,398	37,252	-146 -0.4 %	3,264	3,875	+611 +18.7 %
遊技市場	15,875	15,956	+81 +0.5 %	1,576	1,873	+297 +18.8 %
その他	2,321	3,579	+1,258 +54.2 %	-997	-1,854	-857 - %
合計	166,804	160,785	-6,019 -3.6 %	11,522	12,697	+1,175 +10.2 %

# リテール市場向け製品の販売が順調

百万円	2019年3月期 第3四半期累計期間	2020年3月期 第3四半期累計期間	前年同期比
売上高	70,460	73,343	+2,883 +4.1 %
構成比率	42.2%	45.6%	+3.4 pt
営業利益	2,835	6,284	+3,449 +121.7 %
構成比率	24.6%	49.5%	+24.9 pt
営業利益率	4.0%	8.6%	+4.6 pt

## 業績のポイント

- 金融市場向け  
☑ 紙幣入出金機 → 欧州で販売減
- リテール市場向け  
☑ 紙幣硬貨入出金機 → 欧米で販売増

## セグメントの概要

海外の金融機関、警備輸送会社、小売店、カジノ、OEM先等への販売・保守

## 主要製品



紙幣入出金機  
RBGシリーズ



紙幣硬貨入出金機  
CI-100シリーズ



紙幣整理機  
UWシリーズ

(百万円)	2019年3月期	2020年3月期	前年同期比	
	第3四半期累計期間			現地通貨ベース
米州	23,865	26,254	+2,389 +10.0 %	+12.5%
欧州	30,186	30,734	+548 +1.8 %	+8.9%
アジア	10,454	10,906	+452 +4.3 %	-
中国	3,752	4,589	+837 +22.3 %	+30.2%
OEM	5,953	5,447	-506 -8.5 %	-8.5%
合計	70,460	73,343	+2,883 +4.1 %	-

- 米州 … リテール市場向け製品の販売が好調。
- 欧州 … リテール市場向け製品の販売は順調。
- アジア … 金融市場向け製品の販売が順調。
- 中国 … 金融市場向け製品の販売が好調。
- OEM … ATM用紙幣入出金ユニットの販売が低調。

# 主要製品の販売が低調

百万円	2019年3月期 第3四半期累計期間	2020年3月期 第3四半期累計期間	前年同期比
売上高	40,749	30,654	-10,095 -24.8 %
構成比率	24.4%	19.1%	-5.3 pt
営業利益	4,843	2,519	-2,324 -48.0 %
構成比率	42.0%	19.8%	-22.2 pt
営業利益率	11.9%	8.2%	-3.7 pt

## 業績のポイント

- ☑ オープン出納システム
- ☑ 窓口用紙幣硬貨入出金機

➡ 大口需要の反動により販売は低調

## セグメントの概要

国内の金融機関、OEM先等への  
販売・保守

## 主要製品



オープン出納システム  
WAVEシリーズ



窓口用  
紙幣硬貨入出金機  
RBシリーズ



多能式紙幣両替機  
ENシリーズ

## レジつり銭機の販売は低調

百万円	2019年3月期 第3四半期累計期間	2020年3月期 第3四半期累計期間	前年同期比
売上高	37,398	37,252	-146 -0.4 %
構成比率	22.4%	23.2%	+0.8 pt
営業利益	3,264	3,875	+611 +18.7 %
構成比率	28.3%	30.5%	+2.2 pt
営業利益率	8.7%	10.4%	+1.7 pt

## 業績のポイント

## ☑レジつり銭機

➔ 専門店等での販売は好調

## ☑売上金入金機・券売機

➔ 販売は好調

## セグメントの概要

国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、鉄道会社、たばこメーカー、病院、自治体等への販売・保守

## 主要製品

レジつり銭機  
RT/RADシリーズ売上金入金機  
DSSシリーズ小型入金機  
DS-Nシリーズ

## 主要製品の販売は低調

百万円	2019年3月期 第3四半期累計期間	2020年3月期 第3四半期累計期間	前年同期比
売上高	15,875	15,956	+81 +0.5 %
構成比率	9.5%	9.9%	+0.4 pt
営業利益	1,576	1,873	+297 +18.8 %
構成比率	13.7%	14.8%	+1.1 pt
営業利益率	9.9%	11.7%	+1.8 pt

### 業績のポイント

#### ☑カードシステム

➡ ホールの設備投資抑制により減少

#### ☑その他商品

➡ 喫煙ブースの販売が増加

### セグメントの概要

国内の遊技場(パチンコホール等)への販売・保守

### 主要製品

#### カードシステム



管理ターミナル



カードユニット



カード精算機



賞品保管機  
JKシリーズ

## 売上高

海外市場の販売は増加するが、国内大口案件の反動などにより、前期に比べ減収を予想。

## 営業利益

国内主要製品の販売減少や新事業への継続的投資により、前期に比べ減益を予想。

(百万円)	2019年3月期		2020年3月期		前期比
	通期	売上高比率	通期 予想	売上高比率	
売上高	235,762	100.0%	230,000	100.0%	-2.4%
保守売上高	68,197	28.9%	68,500 71,000	30.9%	+4.1%
営業利益	20,576	8.7%	17,000	7.4%	-17.4%
経常利益	20,575	8.7%	16,500	7.2%	-19.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,256	5.2%	10,000	4.3%	-18.4%
為替 レート	ドル	111 円	110 円		
	ユーロ	128 円	125 円 → 120 円		

※【業績予想値】上段は2019年11月07日予想  
下段は2020年02月06日予想

※2020年3月期 第3四半期から想定レート変更

(百万円)	売上高			営業利益		
	2019年3月期 通期	2020年3月期 通期 予想	前期比	2019年3月期 通期	2020年3月期 通期 予想	前期比
海外市場	103,287	110,000	+6,713 +6.5 %	8,761	9,500	+739 +8.4 %
金融市場	56,636	45,000 44,000	-12,636 -22.3 %	6,764	3,000 2,800	-3,964 -58.6 %
流通・交通 市場	51,985	51,500	-485 -0.9 %	4,611	5,500	+889 +19.3 %
遊技市場	20,511	19,000 20,000	-511 -2.5 %	1,959	1,500 1,900	-59 -3.0 %
その他	3,341	4,500	+1,159 +34.7 %	-1,521	-2,500 -2,700	-1,179 - %
合計	235,762	230,000	-5,762 -2.4 %	20,576	17,000	-3,576 -17.4 %

※【業績予想値】上段は2019年11月07日予想  
下段は2020年02月06日予想

# 參考資料

(百万円)	2019年3月期		2020年3月期		増減
	第3四半期累計期間	売上高比率	第3四半期累計期間	売上高比率	
<b>売上高</b>	<b>166,804</b>	<b>100.0%</b>	<b>160,785</b>	<b>100.0%</b>	<b>-6,019</b>
売上原価	104,405	62.6%	96,382	59.9%	-8,023
販売費及び一般管理費	50,876	30.5%	51,706	32.2%	+830
<b>営業利益</b>	<b>11,522</b>	<b>6.9%</b>	<b>12,697</b>	<b>7.9%</b>	<b>+1,175</b>
営業外収益	470	0.3%	602	0.4%	+132
営業外費用	698	0.4%	1,349	0.8%	+651
<b>経常利益</b>	<b>11,294</b>	<b>6.8%</b>	<b>11,950</b>	<b>7.4%</b>	<b>+656</b>
特別利益	65	0.0%	6	0.0%	-59
特別損失	27	0.0%	135	0.1%	+108
税金等調整前四半期純利益	11,332	6.8%	11,821	7.4%	+489
法人税等	3,918	2.3%	3,813	2.4%	-105
<b>四半期純利益</b>	<b>7,414</b>	<b>4.4%</b>	<b>8,008</b>	<b>5.0%</b>	<b>+594</b>
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,489	3.9%	7,237	4.5%	+748

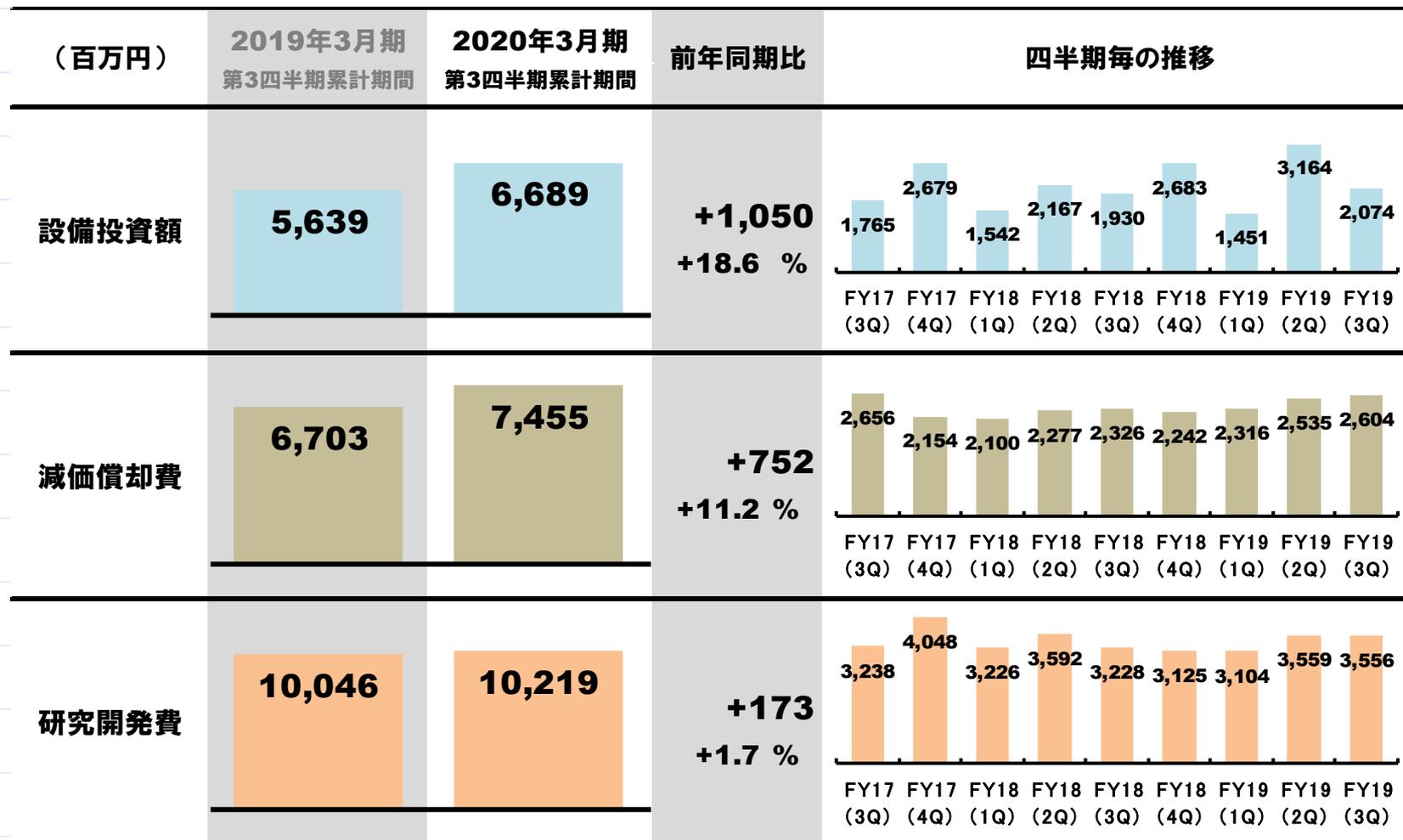
<b>四半期純利益</b>	<b>7,414</b>	<b>4.4%</b>	<b>8,008</b>	<b>5.0%</b>	<b>+594</b>
その他有価証券評価差額金	-712		28		+740
為替換算調整勘定	1,827		-1,795		-3,622
退職給付に係る調整額	37		101		+64
その他の包括利益合計	1,152	0.7%	-1,664	-1.0%	-2,816
<b>四半期包括利益</b>	<b>8,567</b>	<b>5.1%</b>	<b>6,344</b>	<b>3.9%</b>	<b>-2,223</b>

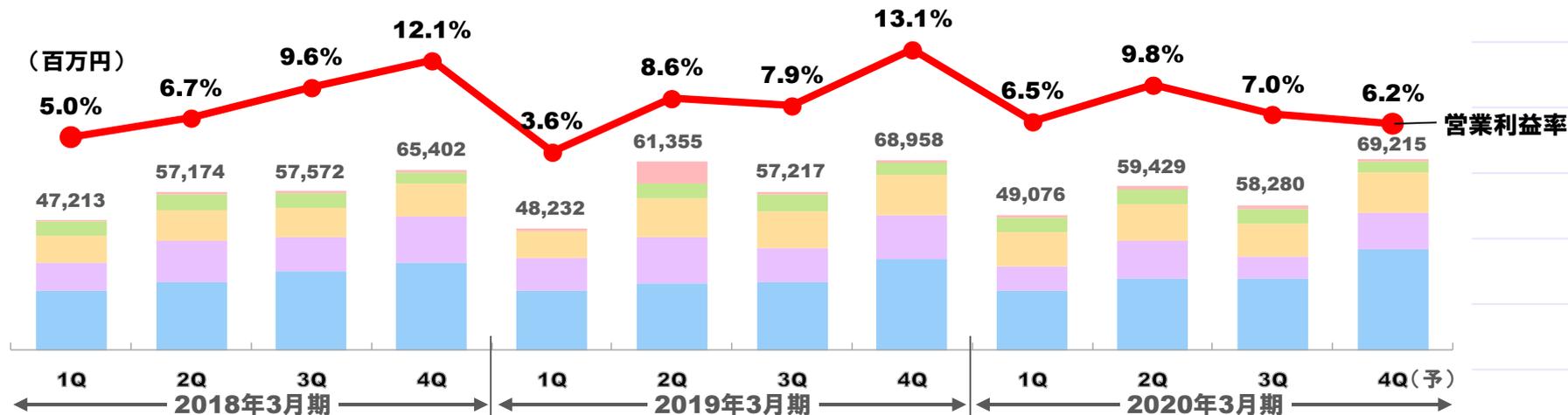
# 貸借対照表 前期末比

(百万円)	2019年3月末	2019年12月末	増減	(百万円)	2019年3月末	2019年12月末	増減
現金・有価証券	75,884	69,705	-6,179	買掛債務	18,475	18,925	+450
売掛債権	58,087	47,698	-10,389	短期借入金	27,845	26,808	-1,037
棚卸し資産	48,527	58,973	+10,446	その他	44,147	41,322	-2,825
その他	5,645	5,484	-161	<b>流動負債合計</b>	<b>90,467</b>	<b>87,055</b>	<b>-3,412</b>
<b>流動資産合計</b>	<b>188,143</b>	<b>181,860</b>	<b>-6,283</b>	長期借入金	0	0	0
有形固定資産	34,829	37,667	+2,838	その他	34,503	36,859	+2,356
顧客関係資産	19,108	18,463	-645	<b>固定負債合計</b>	<b>34,503</b>	<b>36,859</b>	<b>+2,356</b>
のれん	44,245	41,843	-2,402	<b>負債合計</b>	<b>124,971</b>	<b>123,914</b>	<b>-1,057</b>
その他	6,438	6,432	-6	資本金	12,892	12,892	0
無形固定資産	69,791	66,738	-3,053	<b>利益剰余金</b>	<b>172,219</b>	<b>161,346</b>	<b>-10,873</b>
投資その他の資産	25,464	25,694	+230	その他	8,146	13,808	+5,662
<b>固定資産合計</b>	<b>130,084</b>	<b>130,100</b>	<b>+16</b>	<b>純資産合計</b>	<b>193,257</b>	<b>188,046</b>	<b>-5,211</b>
<b>資産合計</b>	<b>318,228</b>	<b>311,960</b>	<b>-6,268</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>318,228</b>	<b>311,960</b>	<b>-6,268</b>

①無形固定資産はのれんの消却が順調に進む

②利益剰余金は自己株式の消却により減少



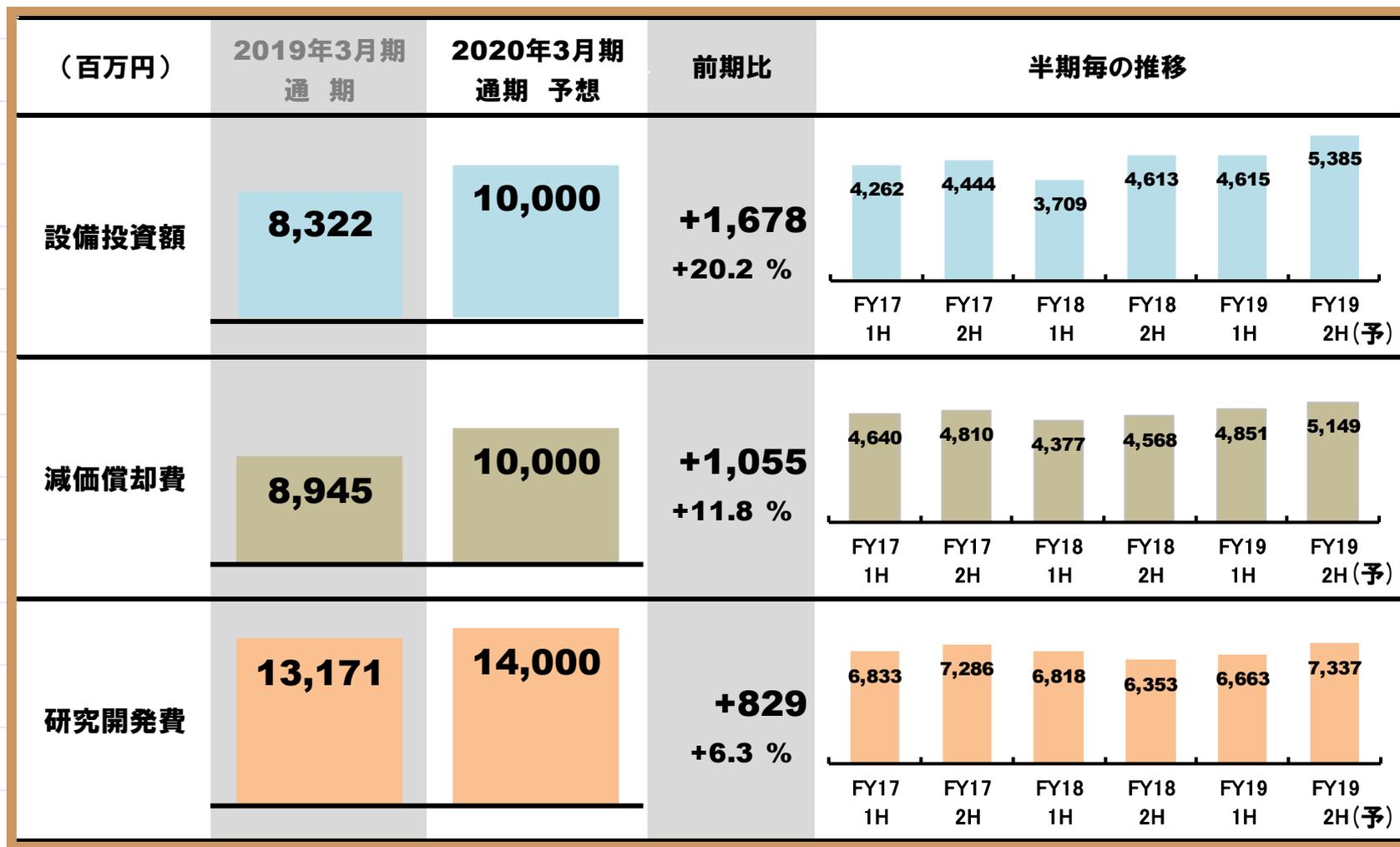


(百万円)	2020年3月期				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期 予想	通期 予想
海外市場	21,541 1,246	26,023 2,801	25,779 2,237	36,657 3,216	110,000 9,500
金融市場	8,617 297	13,718 1,771	8,319 451	13,346 281	44,000 2,800
流通・交通市場	12,531 1,532	12,952 1,387	11,769 956	14,248 1,625	51,500 5,500
遊技市場	5,224 702	5,319 591	5,413 580	4,044 27	20,000 1,900
その他	1,161 -608	1,417 -701	1,001 -545	921 -846	4,500 -2,700
合計	49,076 3,171	59,429 5,847	52,280 3,679	69,215 4,303	230,000 17,000

※枠の上段(黒字)は売上高、下段(青字)は営業利益

(百万円)	2019年3月期	2020年3月期	前期比	現地通貨ベース
	通 期	通期予想		
米州	36,728	42,000	+5,272 +14.4 %	+15.3%
欧州	43,140	46,000	+2,860 +6.6 %	+14.3%
アジア	14,757	16,000	+1,243 +8.4 %	-
中国	5,578	6,500	+922 +16.5 %	+18.7%
OEM	8,661	6,000	-2,661 -30.7 %	-30.7%
合 計	103,287	110,000	+6,713 +6.5 %	-

# 設備投資他



# Acrelec Group S.A.S.の 株式取得（子会社化）について

グローリー株式会社  
2020年1月31日

# 本件の目的

GLORY



ACRELEC

## <目的>

- 通貨処理機の販売/保守にとどまらず、社会の自動化を推進
- 海外市場にキオスク分野を加えることによる販売拡大
- セルフサービスキオスク、セルフチェックアウトシステムなどを組み合わせることにより新たなソリューションの実現
- アクレックが保有するビジネスインテリジェンス(データ収集、分析力など)を活用し、さらなるユーザーエクスペリエンスの向上を図る

## <目的>

- グローリーの販売網と保守網を活用し、さらなる販売拡大を目指す
- セルフチェックアウトシステムの拡大に向けた最適なパートナー
- アクレックの日本市場への参入サポート
- 規模の拡大によるコスト競争力及びオペレーションの改善

GLORY : 100ヶ国以上の販売実績



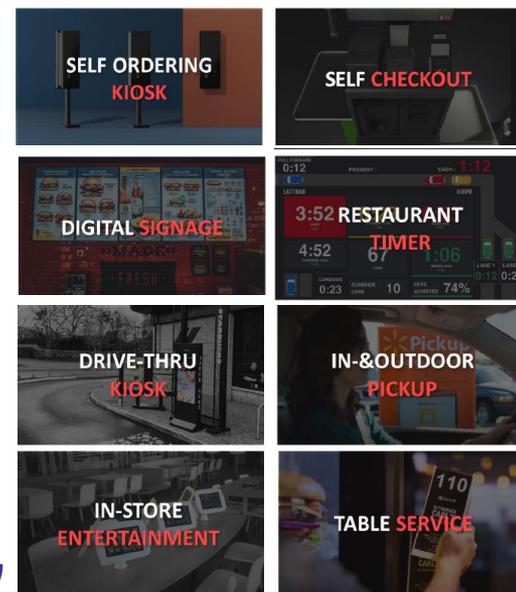
- 直接販売・保守
- 販売・保守代理店

  
世界に展開する  
サービス体制



紙幣・硬貨入出金機

セルフサービスキオスク



# 海外リテール市場の事業環境とキオスク市場

## 海外リテール市場の事業環境

- 先進国を中心に人件費が高騰。省人化ニーズの高まり
- 支払(決済)業務の効率化ニーズの高まり
- 販売データを活用した新たなビジネスの展開ニーズの高まり

## セルフサービスキオスクとは？

- ・セルフサービスキオスクは、自立型、双方向、支援不要のマルチメディアシステムのことを言い、情報提供や取引処理に用いられる。
- ・キオスクシステムは、対人操作のインターフェース機器、コントロールソフトウェア（ローカルおよび遠隔）、支払いシステム及び外部システムとの接続等から構成される。

## セルフサービスキオスク市場見通し

### ◆市場成長性

人件費の高騰や人手不足対応を背景に、ファストフードやスーパー等において急成長しており、3つの調査会社において、アメリカや欧州などの先進国を**中心に今後5年間の平均成長率は14%以上**と推定される。

### ◆業務効率化ニーズの高まり

多様な決済手段の対応やモバイルオーダーシステムなどの導入による**省人化や省力化ニーズが先進国を中心に高まっている。**

### ◆販売データを活用した新たなビジネス展開ニーズの高まり

セルフサービスキオスクに搭載されるAI（人工知能）等の活用により、利用者に**最適なカスタマーエクスペリエンスを提供することが可能となり、セルフサービスキオスクの導入店舗の売上拡大が期待できる。**



# Acrelec Group S.A.S.概要

## 会社概要

企業名	Acrelec Group S.A.S.
本社所在地	フランス
代表者・役職	CEO Jacques Mangeot, Jalel Souissi
事業内容	セルフサービスキオスク機器の開発・製造・販売・保守
資本金	84,938千ユーロ
設立年月日	2016年6月
従業員数	800人

## 拠点

世界19ヶ国に拠点があり、80ヶ国以上の販売実績あり



## 業績推移



## 顧客

※アクレレック社のWebサイトより引用



# Acrelec Group S.A.S.の強み

## 1. セルフサービスキオスクにおける業界のリーダー

- ・世界に40,000台以上に導入
- ・世界的に認知されたブランド
- ・セルフサービスソフトウェアのマーケットリーダー

## 2. 強固な顧客基盤

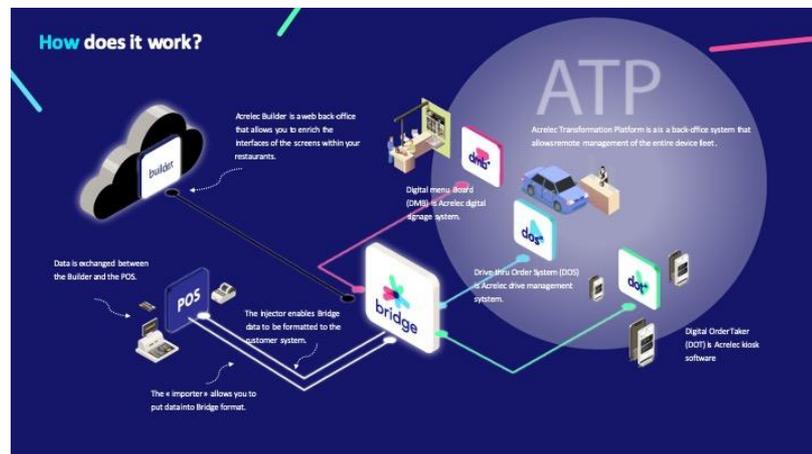
- ・世界80ヶ国への販売実績
- ・主要な顧客：マクドナルド、KFC、バーガーキングなど

## 3. グローバル ターンキー ソリューション

- ・開発、製造、販売、保守の一貫体制
- ・スピーディーに顧客ニーズに対応できるグループ運営

## 4. 迅速なソフトウェア開発

- ・100名を超えるソフトウェアエンジニアを保有
- ・市場競争力のあるアプリケーション開発やマネジメントソリューションを保有

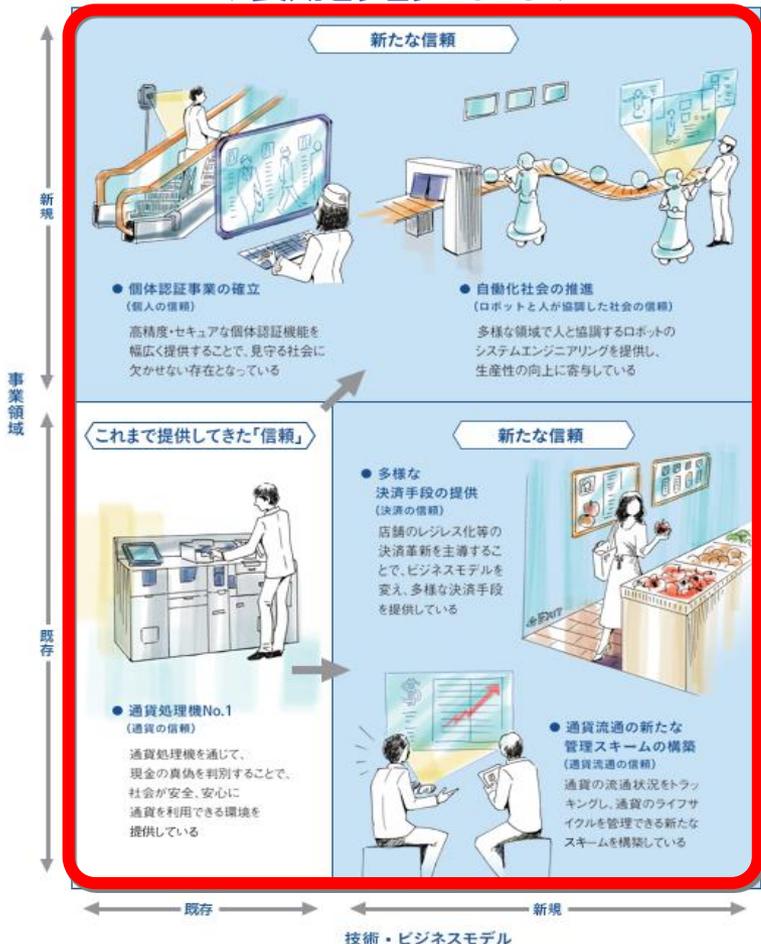


# 期待されるシナジー効果

## 「長期ビジョン2028」実現に向けた新事業領域の拡大

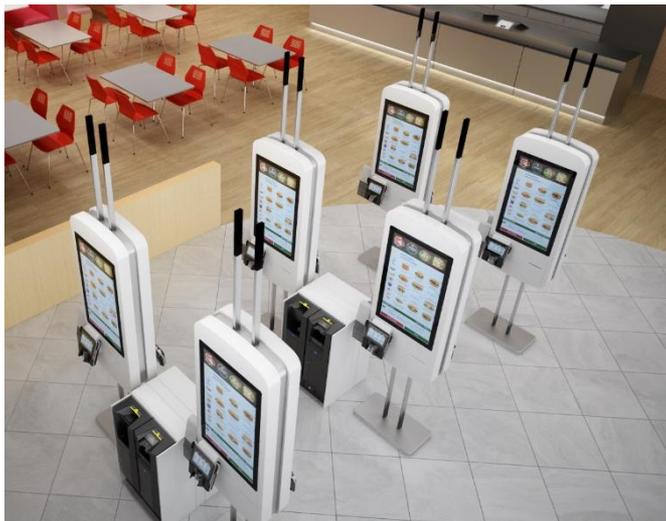
～期待を超えるスピードでの「市場・顧客ニーズの創出」、「製品・サービスのタイムリーな提供」の実現～

### ◆長期ビジョン2028◆



### ◆期待されるシナジー効果◆

- アクレックとグローリーの販路を活用したキオスクおよび通貨処理機の販売拡大
- キオスク設計ノウハウと通貨処理技術の融合による新たな顧客価値の創造
- 店舗管理プラットフォームの活用による新たなサービスの実現



※赤枠：期待されるシナジー効果の領域

# 株式取得数、取得価額

## 取得株式数

**75,500,034株**  
**発行済株式総数に対する割合：80%**

## 取得予定価額

**202百万ユーロ（約242億円）**

(注)1ユーロ120円で換算

取得価額は、株式取得の対価に加え、ネット有利子負債の額を含みます。  
また、取得価額は株式譲渡契約に定める価格調整を実施し、金額が変動する可能性があります。

## 株式売買 契約締結日

**未定**（関係法令上の手続の完了後）

## 株式引渡日

**未定**（関係各国の規制法令上の認可等の取得後）

## 実行の 前提条件

**アクレック社の株主による応諾及び株式売買  
契約締結の完了ならびに関係法令上の認可等**

## <注意事項>

1. 本資料に記載されている、業績見通し等の将来に関する情報は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きくことなる可能性があります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。
2. 当資料の増減率、構成比は、百万円以下を切り捨てた数値を基に算出しており、決算短信の増減率とは異なる場合があります。